

イクボス宣言

私は、多くの教職員・学生を擁する島根大学のトップとして、大学構成員が仕事と私生活（家庭・余暇・地域活動その他）をもとに充実して過ごせるよう積極的に支援するとともに、自らも率先してその両立を楽しむ《イクボス》となることを誓います。

(理解)

一、大学構成員がそれぞれのライフ・デザインに則して私生活に時間を充てることについて、その重要性と必要性を十分に理解し、余暇や家族とのふれあい、育児や介護、また地域活動への頑張りを応援します。

(環境整備)

二、仕事と私生活の両立・充実を目指して、それに必要な制度の確立や環境整備に取り組めます。また啓発活動にも力を入れ、構成員が互いのライフ・デザインを尊重し合える雰囲気づくりに努めます。

(イクボス養成)

三、部下や学生を指導する立場にある構成員が、自らも《イクボス》であるという意識と誇りを持てるように教育します。

(仕事に対する態度)

四、仕事の成果を短時間でしっかり出せるよう、創造的で効率的な働き方を実現します。

(業務改善)

五、貴重な「人財」とその時間を大切にするため、会議時間の短縮や書類の削減、IT活用、意思決定手続の見直しなど、業務の改善に努めます。

(提言)

六、働きやすい職場づくりに向けて、現場からの声、提言に真摯に耳を傾けます。また、構成員が《イクボス》の立場から、大学経営に対して積極的に提言することを推奨します。

(啓発)

七、《イクボス》の輪を広げ、その振りが島根大学に集うすべての人の明るい笑顔と、大学組織の業績向上へとつながることを実証します。また、その成果を、地域や社会に広めていくよう努力します。

平成28年7月20日

国立大学法人島根大学長

服部 泰直

理事 (総務・労務担当)

藤田 達朗

理事 (企画・学術研究担当)

秋重 幸邦

理事 (教育・学生支援担当)

荒瀬 架

理事 (医療・附属病院担当)

井川 幹夫

理事 (大学経営・財務担当)

松浦 見幸

理事 (社会連携担当)

江口 博・晴

立会人

NPO 法人ファザーリング・ジャパン 理事

川島 高之